

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2016v1.0

1-1 建物概要

建物名称		
竣工年月	2019年4月	予定
建設地	愛媛県四国中央市	
用途地域	無指定区域	確定
省エネルギー-地域区分	6 地域	
構造・構法	木造軸組	確定
階数	2	
敷地面積	307 m ²	確定
建築面積	70 m ²	確定
延床面積	124 m ²	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮
<備考>		
評価の実施日	2018年12月10日	
作成者	西山 博	
確認日		
確認者		

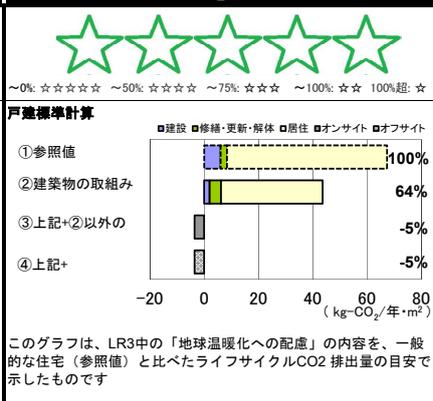
1-2 外観



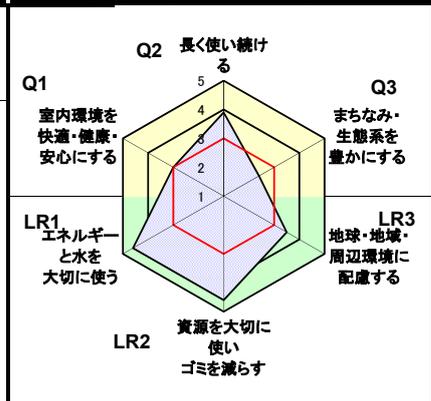
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



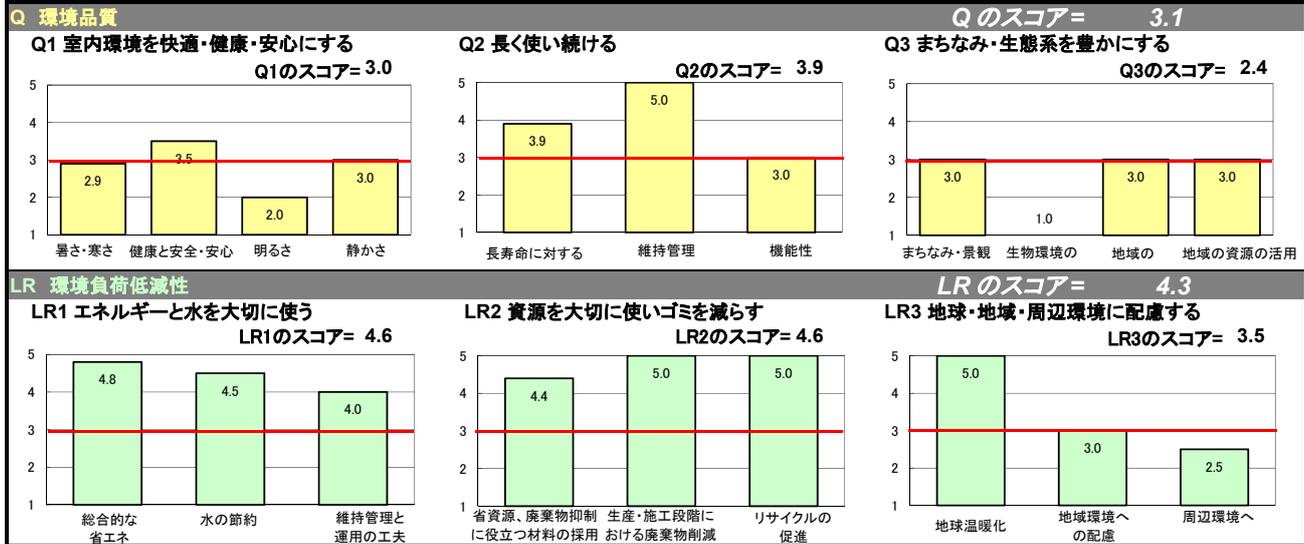
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>計画地は中山間部に属し、周辺建物や自然環境との調和を図り、環境負荷に考慮した建物となる様に計画した。</p>	<p>その他</p> <p>周辺の自然環境とも共存するため、敷地内における緑化に配慮する。</p>	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>国の省エネ基準を超える気密断熱仕様とし、熱損失の大きい窓にはトリプルガラス樹脂サッシを採用し、冷暖房負荷の軽減を図る。熱交換型第一種換気システムを採用し温熱環境に配慮し、機械換気能力を最大限に生かすため、気密性能を0.3cm/100mm以内とする。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>地盤調査に基づく安全な基礎方式の採用、壁体内の結露を防ぐため、気密を強化し、直接外気の侵入を防ぐと共に、断熱材を吸放湿性のあるものを採用。外部仕上げには、経年劣化の少ないアルセコ外装システムを採用。1階部分の使用木材には、シロアリ被害防止の観点から、防蟻剤を塗布する。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>周辺住宅との調和を図り、形状をシンプルにし、色合いも自然にマッチするアイボリー系にすると共に、敷地内に出来る限り植栽を配し地域の生態系に配慮する。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>パッシブな省エネルギー対策に加え、ヒートポンプ給湯器を採用すると共に照明器具はすべて消費電力の少ないLEDを使用。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>特に対策は講じていないが、長期的な見解から、外部構成材・内部仕様等、メンテナンスの少ない、またリフォームの必要性の少ない素材を採用することにより、建物での粗大ごみを削減するよう、配慮している。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>建物を長期間に渡って使用していく上で、高気密高断熱によるエネルギー消費の削減、長く使い続けるため仕上げ材の工夫による住宅建築に係るエネルギーの削減により地域及び周辺環境に配慮する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)